

2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の 工事現場に従事している(する予定)の組合員さん

現場の生の情報をお寄せください

私たち仲間の声で現場を変える！！

FAX 番号 078-871-1419

(任意) 組合員氏名：

*氏名の記名についてはあくまで任意ですが、内容によっては詳しいお話をお聞きしたいと思いますので、記名していただくとありがたいです。

問1：トイレの数については、どうでしょうか？

- 1.十分にある 2.不足している 3.わからない

問2：朝礼の時間については、どうでしょうか？

- 1.早すぎる 2.適正である

問3：パワハラなど理不尽なハラスメントはありますか？

- 1.ある 2.ない

「1.ある」に○をされた方は、もしよろしければ具体的に教えてください。(誹謗中傷などを言われるなど)

[]

問4：熱中症対策は十分にされている現場でしょうか？

- 1.十分である 2.十分でない 3.わからない

問5：工期は十分に与えられていますか？

- 1.十分である 2.十分でない

問6：安全・衛生対策は十分にされている現場でしょうか？

- 1.十分である 2.十分でない 3.わからない

自由記入欄（万博現場に関することなら何でも構いません。）

（記入例：理不尽な要求（時間外労働の上限規制なんて関係ない）が元請けから指示されて困っている）

[]

2025年4月の「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の開幕まで2年をきりました。現在、万博会場となる大阪の夢洲ではパビリオンやテーマ館の建設工事は進んでおらず、地下鉄の新駅工事が施工されている段階です。コロナ禍以降の資材価格高騰などの影響を受けて、工事の入札は不調が多発し、工事の着工遅れが懸念されています。着工が遅れると、それだけ工期が短縮されます。実際、東京オリンピック・パラリンピックの建設現場では工期の短さから多くの労災事故が発生し、当時23歳の現場監督が自殺するという最悪の事態にまで発展しました。大阪・関西万博の建設現場でも東京オリンピック・パラリンピックの時と同じ過ちが繰り返されることのないよう、組合では主催者である公益社団法人2025年日本国際博覧会協会や各元請企業などへ、労働安全衛生の確保・労働環境の向上を申し入れることとしています。

申し入れをするには、実際に現場で働く方々の声が欠かせません。

今年の7月には、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に出展するカナダのローリー・ピーターズ政府代表らが、大阪市役所を訪問し資材高騰などで準備が遅れている海外パビリオン建設について「予算が限られ、スケジュールもタイトだ」と発言しました。ピーターズ政府代表は、労働基準法の改正で来年度から建設業の残業時間に罰則付きの上限規制が設けられることについて、「万博の建設では（残業を）例外的に認めるなど、柔軟に対応してほしい」と求めました。

さらに、2025年日本国際博覧会協会も建設業界に対する時間外労働の上限規制を万博工事には適用しないよう政府側に正式に要請しました。

外国の政府代表や万博協会のように自分たちの要望を発言することが大切です。私たち組合が皆さんに代わって主催者である公益社団法人2025年日本国際博覧会協会に現場の声を届けることで東京オリンピック・パラリンピックの際に起こった悲惨な建設現場を少しでも改善するお手伝いをさせてください。

なお、秘密は厳守いたします。（情報提供元を日本国際博覧会協会や大阪市、ゼネコンなど組合以外の外部に明かすことは一切いたしません）

皆様からの情報提供をよろしく願います。



まだ本格的な工事が進んでいない万博会場の夢洲（大阪市此花区）

神戸土木建築労働組合 賃金対策部